

第 28 期定時株主総会 ご質問事項への回答

2025 年 10 月 24 日（金曜日）の第 28 期株主総会の開催にあたり、事前にいただいたご質問の中から、多く寄せられたご質問事項及び株主総会当日にいただいたご質問事項について、以下の通りご回答をお知らせいたします。

なお、記載内容につきましては、ご理解いただきやすいよう加筆・修正をしております。

Q1. ベトナムFPTリテール社との合併事業について、進捗を教えてください。

A1. ベトナム景気及びFPT社の業績が悪化し、先方からの申し入れにより、2023 年に協業は中止となりました。一方、ベトナムは依然として海外展開の重要拠点の一つであると認識しています。機能性素材の販売力を強化するために、原料ビジネスの経験が豊富な現地営業スタッフを 1 名配置しました。また、機能性食品や化粧品の製造力を強化するために、日系企業をパートナーとして、ベトナムにおける製造拠点を構築中です。今後、中国、欧州方面を含めた海外展開の拠点としていきます。

Q2. 50 億円の卵殻膜投資により、今後BtoB市場でどのように販路の拡大を目指しますか。

A2. 繊維では、ovoveilの原綿、そしてそれを紡いだ糸をBtoB販売することを想定しています。ハイブランドだけでなくマスブランド両方で市場性があり、競争力を有していると認識しています。世界のアパレルメーカーから非常に高い評価を受けており、すでに商談を進めています。

アグリでは、卵殻膜を使用したバイオスティミュラント資材は、猛暑、低日照、着果負担など、これまでの技術では解決できなかった社会課題を解決できる可能性があることを確認してきました。著名な農業法人の協力を得ながら、海外を含めた販路拡大に取り組んでいます。

Q3. ニューモ以外の新製品開発について、中期経営計画期間中の進捗を教えてください。

A3. 2022 年 7 月に始まった中期経営計画では、ニューモ育毛剤に次ぐ新製品の開発に取り組んでいます。現在までの 4 年間で、年間売上高 100 億円のニュー Z をはじめ、ラクトロン錠やホワイトニングジェル、WMOA、タマゴサミン、ヘルspanC 錠など、20 億円を超える製品が次々と誕生しており、新製品開発は順調に進んでいると認識しています。最新情報として、通販事業開始時から販売しているタマゴサミンの機能性表示食品の届出が受理され、今後も販売に注力してまいります。また、新たな挑戦として、ペットフードへの参入も検討しています。家族の一員であるペットの生活の質向上のために、機能性、嗜好性、安全性に考慮した技術をもってBtoC事業に力を入れて参ります。

Q4. インターネット広告及びダイレクトメールでの案内の頻度が多いと感じますが、広告宣伝の方針について、教えてください。

A4. お客様との継続的なコミュニケーションを大切にしながら商品のサービスや商品の価値を適切にお届けすることを目的に、ネット広告やダイレクトメール、お電話等のご案内を行っております。特に新商品や継続的にご愛用いただいた商品を必要なタイミングでご紹介することが、お客様の健康や生活の質の向上に繋がると考えております。一方で、

ご案内の頻度や内容につきましては、今後もお客様のお声を真摯に受け止め、より心地よく感じていただける情報発信の在り方を模索して参ります。

Q5. 株価が苦戦している状況であるが、自社株買いや株主優待等の株価改善策は考えていますか。

A5. 本日の株主総会でもご説明のとおり、「創薬」・「繊維」・「アグリ」の分野で、今後の成長が大いに期待できる新規事業が進行しております。自社株買いは今後も必要に応じて行なってまいりますとともに、株主優待に関しても前向きに検討してまいります。しかしながら、株価を上げていくためには、既存の事業でしっかりと収益基盤・財務基盤を構築しながら、IR・PR活動を通じて新規事業の将来性を皆さまにお伝えしていくことが本質であると考えております。

Q6. 売上高 1,000 億円を目標とする一方で、今後の利益についての方向性を教えてください。

A6. 時価総額を上げていくためには、利益の金額規模を大きくし、株主還元を増やしながらも純資産を増やしていくことが必要と考えております。そのために、まずは売上規模の拡大として 1,000 億円の必達を目指しておりますが、売上高 1,000 億円達成後は利益の拡大を図り、営業利益率 10%となることを目指します。

Q7. 兵庫グリーンバイオマスファームについて、進捗状況を教えてください。

A7. 「兵庫グリーンバイオマスファーム」は、当社の関連会社であるベナート㈱が運営しております廃食用油バイオマス発電所です。現在は機械の障害によって稼働停止しておりますが、復旧に向けた取り組みを行っております。なお、本事象による当社業績への影響は軽微であります。

Q8. ニューモ育毛剤の中国展開の進捗を教えてください。

A8. ニューモ育毛剤の中国展開は、前年度同様、当社サイトを通じた越境ECによる販売を継続しております。中国の景気後退が懸念されていますが、前年度と同程度の水準を維持しています。今後に向けては、越境ECに加えて、一般流通を開拓するために中国企業との連携を活発化させています。

以上